

# 今治明德短期大学 地(知)の拠点整備事業

平成27年度 地域交流実践演習 I・II  
活動報告書



## 課題から解決へ——「地域交流実践演習」に期待する



今治明德短期大学  
学長 野口 学

本書は、共通教育科目「地域交流実践演習」（以下、「実践演習」）の成果報告である。この演習は、すべての学生が対象である。グループ単位での学習を中心とし、そのメンバー構成は学科・コースの枠を越えた横断的なもので、多彩である。指導は全教員が担当する。方法において、新しい試みである。

教材は主として今治地域である。今治は、古くから全国有数の造船、海運、タオル生産の町として有名。また、緑豊かな島々、あざやかな青い海に囲まれた「しまなみ海道」があり、近年は、島と橋と海を備えたサイクリングロードの町として注目を浴びている。文化、歴史の豊かさも今治の魅力である。

しかし、いずれの地方もそうであるが、今治市にあっても、少子高齢化、人口減少、また島しょ部、山間部にあっては過疎化が進んでおり、これらへの対応が喫緊の課題となっている。

実践演習では、まず、こうした地域の課題を明らかにした。その課題を、すべての学生が課題意識として共有した。ここから出発する。

ただ、課題意識は、外側の世界であって、学生にとって切実感はない。他人事に近い感覚である。実際に地域に出向き、調べ、体験し、感じ、考える、といった心身を駆使する過程を経て、課題意識が、学生の内側で当事者性をもった問題意識へと転換していく。問題意識にまで高まり、それが内面化して、はじめて課題を解決しようとする力が生じてくる。

そうした学生の変容が、本報告で確認できるのではないかと期待している。

地方創生が言われている。若者の力を必要としている。そのためにも、地域課題を自らの問題ととらえることのできる学生の育成が急務である。課題から問題へ、問題から解決へと学生を誘う実践演習、その役割は大きい。

## 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 巻頭言                     |    |
| 目次                      | 2  |
| 主旨・事業概要                 | 3  |
| 地域交流実践演習Ⅰシラバス           | 4  |
| 地域交流実践演習Ⅱシラバス           | 7  |
| 地域交流実践演習Ⅰ活動報告           | 9  |
| グループ1 今治タオル・地産地消「絹かわナス」 | 10 |
| グループ2 しまなみ海道サイクリング      | 15 |
| グループ3 今治の地域活性化          | 19 |
| グループ4 サイクリング            | 24 |
| グループ5 サイクリング            | 29 |
| グループ6 今、私達にできること        | 33 |
| グループ7 しまなみファンを増やすために    | 39 |
| グループ8 しまなみサイクリング        | 43 |
| グループ9 自転車をつなぐ食文化        | 48 |
| グループ10 しまなみサイクリング       | 52 |
| 地域交流実践演習Ⅱ活動報告           | 57 |
| 歩き遍路体験学習班               | 58 |
| サイクリング班                 | 68 |
| 世代間交流〈遊び〉班              | 78 |
| 世代間交流〈料理〉班              | 88 |
| タオル班                    | 98 |

## 主 旨

### ◆地(知)の拠点整備事業(COC事業)概要

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図る目的として、平成25年度に開始された文部科学省の事業です。

### ◆地域交流実践演習Ⅰ・Ⅱ(1科目2単位)

地域交流実践演習は、平成27年度入学生から全学科共通の卒業必修科目として位置づけられた地域志向科目です。

「地域交流実践演習Ⅰ」は、地域の実情および地域の課題への理解を深めるため、座学・グループワークを組み合わせた学習を行い、地域学習を通じて考察したことをまとめ、発表会で報告するものです。

「地域交流実践演習Ⅱ」は、「地域交流実践演習Ⅰ」での学習を踏まえ地域での実践活動を行い、地域の方々と交流し、体験したことをまとめ実践報告を行うものです。

### 地域交流実践演習の目的・テーマは

地域やそこに生きる人々との交流を通して、地域における取り組むべき課題に気づき、自らその解決に向けて考え、実践していこうとする態度を培うことです。

### 授業終了時には

1. 地域に関心に向け、その良さに気付くことができる。
2. 地域の人々と心地よいコミュニケーションをとることができる。
3. 主体性をもって実践的に地域とかかわることができる。
4. 実践を通して地域における課題を自ら考えることができる。
5. 実践を通して学んだことを適切な方法で発信することができる。

ことを到達目標としています。

### 「地域交流実践演習Ⅰ」授業計画

| 回数  | 日時                   | 授業内容の全体計画  | 場所・備考               |
|-----|----------------------|--|---------------------|
| 1   | 4月23日<br>14:30～16:00 | <b>オリエンテーション</b><br>学長あいさつ 授業の趣旨説明 アンケート<br>グループでの顔合わせ 自己紹介等<br>役割分担決定：一人1役以上(司会進行係、記録係、<br>発表者)<br>出席票記録・提出   | 大講義室<br>各教室<br>大講義室 |
| 2・3 | 5月14日<br>14:30～17:40 | <b>地域を知る・地域の課題を知る(1)</b><br>講演：講師 小山田憲正氏(仙遊寺住職)<br>(テーマ)“四国へんろ道世界遺産化”と地域づ<br>くりについて<br><b>地域を考える・地域の課題を考える(1)</b><br>グループワークⅠ<br>全体のまとめ・講評等                                      | 大講義室<br>各教室<br>大講義室 |
| 4・5 | 5月28日<br>14:30～17:40 | <b>地域を知る・地域の課題を知る(2)</b><br>講演：講師 山本優子氏(今治NPOサポートセン<br>ター)<br>(テーマ)地域課題解決につながるイノベー<br>ション<br>～官民協働で取り組む自転車旅行振<br>興の現場から～<br><b>地域を考える・地域の課題を考える(2)</b><br>グループワークⅡ<br>全体のまとめ・講評等 | 大講義室<br>各教室<br>大講義室 |
| 6・7 | 6月11日<br>14:30～17:40 | <b>地域を知る・地域の課題を知る(3)</b><br>講演：講師 島崎義弘氏(今治市社会福祉協議会)<br>(テーマ)今治市の地域福祉活動について<br><b>地域を考える・地域の課題を考える(3)</b><br>グループワークⅢ<br>全体のまとめ・講評等   | 大講義室<br>各教室<br>大講義室 |

|       |                      |   |                         |
|-------|----------------------|---|-------------------------|
| 8・9   | 6月25日<br>14:30～17:40 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域を知る・地域の課題を知る(4)</div> 講演：講師 年森恭子氏（野菜ソムリエ・食育マイスター）<br>（テーマ）食の地産地消と地産他消<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域を考える・地域の課題を考える(4)</div> グループワークⅣ<br>全体のまとめ・講評等 | 大講義室<br><br>各教室<br>大講義室 |
| 10・11 | 7月9日<br>14:30～17:40  | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域を知る・地域の課題を知る(5)</div> 講演：講師 近藤聖司氏（四国タオル工業組合 理事長）<br>（テーマ）今治タオル 奇跡の復活<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域を考える・地域の課題を考える(5)</div> グループワークⅤ<br>全体のまとめ・講評等  | 大講義室<br><br>各教室<br>大講義室 |
| 12・13 | 7月23日<br>14:30～17:40 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域の実情を知り、考察したことをまとめる(1)(2)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プレゼンテーション準備(1)(2)</div>  | 大講義室<br>各教室             |
| 14・15 | 7月30日<br>14:30～17:40 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域の実情を知り、考察したことをまとめる(3)(4)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プレゼンテーション準備(3)(4)</div>  | 大講義室<br>各教室             |

**2回～11回目の進め方**：（2回分1テーマで計5つのテーマ）

- ①ゲスト講師講演（50～60分）〈大講義室〉
- ②グループワーク（50～60分）〈各教室〉
- ③全体での発表・まとめ（1グループ2分程度）〈大講義室〉
- ④ゲスト講師による講評〈大講義室〉
- ⑤出席票記録・提出〈大講義室〉

**グループについて**

\*別紙を見て自分のグループを確認してください。他学科、他コースの学生さんとも交流ができるように一グループ10～12名でグループ分けをしています。各グループには本学の先生方が2名ずつ入り、皆さんのグループワークをサポートします。様々な学生、先生方と交流する機会としてください。

**授業成果の地域への発信（発表）**

- \*9月26日（土）大学公開講座（学生発表）
- \*10月31日（土）学生祭での発表

上記の行事等で地域の方々に学修成果を発信することを計画しています。  
詳細は後日お知らせします。

### グループワークの進め方のルール

1. 各回のグループワークで学生一人ひとり必ず一言は発言する。  
→感想等でもかまいません。うまく話せないことを気にしないでいいです。  
自分の言葉でグループのメンバーに自分の思い、考えを伝えてみましょう。
2. グループのメンバーの話を聞き、受け容れる。  
→他者の意見や考えを否定、批判しないで受容的に聞いてみましょう。
3. 自由で多様なアイデアが出るような雰囲気大切に作る。  
→無理に答えを出さなくてもかまいません。多様な意見を大切にしましょう。  
ただし、テーマや趣旨から外れ過ぎないように気をつけましょう。
4. それぞれの役割を最大限に果たせるように心がける。  
→グループには司会、記録、発表者、発言者などそれぞれの役割があります。  
各役割をする人に協力するとともに自分の役割を出来る限り果たしましょう。

各グループの教員は、皆さんのグループワークが目的に添って円滑に進むようサポートします。

教員は、学生の皆さんがグループの中で自ら積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を大切に考えています。グループ内でわからないことや困ったことがあればフォローしますので、安心してグループワークを進めてください。

### 学生用出席票について

各回の出席管理が皆さん自身でできるようにコメントシートをつけた学生用出席票を使用します。各回の感想や疑問点などのコメントを書き、授業終了時にグループの担当教員に提出してください。

### その他

各回の授業の様子を本学のHPを通じて地域に発信することを考えています。皆さんの授業風景やグループワークの様子の写真を撮影すること、HPに載ることに支障がある場合は、各グループの教員に申し出てください。

\*地域やそこに生きる人々について多くのことが学べる授業になることを願っています。  
楽しみながら、コミュニケーションをとりながら、実りある授業としてください。

## 地域交流実践演習Ⅱ（後期開講）について

### 地域交流実践演習の目的・テーマは

地域やそこに生きる人々との交流を通して、地域における取り組みべき課題に気づき、自らその解決に向けて考え、実践していくこうとする態度を培うことです。

### 授業終了時には

1. 地域に関心に向け、その良さに気付くことができる。
  2. 地域の人々と心地よいコミュニケーションをとることができる。
  3. 主体性をもって実践的に地域とかわることができる。
  4. 実践を通して地域における課題を自ら考えることができる。
  5. 実践を通して学んだことを適切な方法で発信することができる。
- ことを到達目標としています。

### 「地域交流実践演習Ⅱ」授業計画（予定）

| 日 時                      | 1. おへんろ体験                        | 2. しまなみサイクリング                   | 3. 世代間交流（遊び）                              | 4. 世代間交流（料理） | 5. オリジナルタオル |
|--------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---|--------------|-------------|
| 10月8日（木）<br>14:30～17:40  | （第1・2回）                          | オリエンテーション 授業説明                  | グループ別のオリエンテーション                           | 活動上の諸注意      |             |
| 10月10日（土）<br>（1日実施）      | （第3・4・5・6回）*地域活動<br>地域で活動する      | 地域の人々と交流する                      |   |              |             |
| 10月22日（木）<br>14:30～17:40 | （第7・8回）<br>地域での活動の振り返り、パンフレット作成等 |                                 | （第3・4回）<br>地域で活動するためのグループ別ミーティング、役割分担、準備等 |              |             |
| 10月24日（土）<br>（時間未定、半日実施） |                                  |                                 | （第5・6回）*地域活動<br>地域で活動する                   | 地域の人々と交流する   | グループ別活動     |
| 10月29日（木）<br>14:30～16:00 | （第9回）<br>グループ別活動                 | ミーティング・作業                       | （第7回）<br>グループ別活動                          | ミーティング・作業    | または地域活動     |
| 11月12日（木）<br>14:30～17:40 |                                  |                                 | （第8・9回）<br>グループ別活動                        | ミーティング・作業    | または地域活動     |
| 12月10日（木）<br>14:30～17:40 | （第10・11回）                        | 地域での活動、地域の人々との交流を通して考察したことをまとめる |   |              |             |
| 12月24日（木）<br>14:30～17:40 | （第12・13回）                        | 地域での活動、地域の人々との交流を通して考察したことをまとめる |   |              |             |
| 1月28日（木）<br>14:30～17:40  | （第14・15回）                        | 地域活動報告会                         | グループ別にプレゼンテーションを行う                        |              |             |



